

報告事項1：令和5年度事業報告の件

令和5年度事業報告 要 旨

事業年度活動テーマ 『Partnership』 チームのために手を取り合おう
～Let's work together hand in hand for team～

はじめに

J A I F Aは公益社団法人として更に成長するため、60周年を契機として一層の飛躍に向け「Step up to the next stage～次のステージへ～」をテーマに新たな次のステージに向けて活動し、続く令和5年度は、会員同士のパートナーシップを確認してチームとして一体化することで更なる組織強化を図るため事業活動テーマを『Partnership チームのために手を取り合おう～Let's work together hand in hand for team～』として取り組んできた。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、本部・9ブロック・54地方協会はコロナ禍以前のように対面での活動ができるようになり、事業計画の推進のため全体がチームとなって取り組んできた。

結果、会員数は37協会が前年度会員数を上回り全体で1,823名の増員となり、念願の4万名体制を26年ぶりに達成することが出来た。

令和5年度の特記する点は下記の通りである。

◆2023年次大会 in 神奈川、地方協会セミナー

2023年次大会 in 神奈川は令和5年6月20日に盛大に開催することが出来た。また、各地方協会では、セミナーの対面開催と同時にWebを活用してハイブリッド開催とするなど、一般消費者参加の増加を図ることが出来た。

◆ITの活用と促進

ホームページや学習帖のアクセス数のモニタリングを継続しながら、IT公益推進委員会の教育部会・広報部会・IT推進部会の3部会が合同でアクセス数の増加にむけて活動した。

更に、J A I F A公式LINEもスタートさせ広報誌「Present」最新号の発信や各種お知らせ等を発信した。

◆会員増強

令和5年度は、明治安田生命の全都道府県J A I F A明治安田分会設立に伴い、会員数が前年度比4.5%UPと大幅に増員し、目標としていた会員数4万名を達成した。

◆愛のドリーム募金

会員1人1日10円を募金し、高齢者福祉施設等に福祉巡回車「愛のドリーム号」を贈呈するなどの活動を行っている愛のドリーム募金は、生命保険の日である1月31日に全国一斉贈呈式を実施する方針の下、例年どおり、全国54地方協会の大宗において一斉に挙行了。

◆ハートフルファンデーション支援

会員の年会費に500円のハートフルファンデーション基金が含まれており、「突発的災害」と「未来ある子どもたち」への2本柱として支援活動を行っている。

「突発的災害」は、被災地のハートフル・コーディネーターや地方協会長との連携により、多発した台風や1月の「令和6年能登半島地震」等へ迅速に被災地が求める物資支援等を行った。

また、「未来ある子どもたち」への支援は、平成29年度以降継続支援してきた3団体に新たな支援先として「ジャパンハート」を加えた。更に、国内のみならず、海外の子どもたちにも目を向け、「困難な状況にあるウクライナの子どもたちに役立たせる」ための支援や「トルコ地震で被災した子どもたちのため」にも、令和4年度末会員数38,664名×100円ずつの支援も行った。

令和5年度の公益社団法人としての事業詳細については下記のとおり報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- (1) 消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- (2) 地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- (3) 消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次統一セミナーは、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るという、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2023年度開催「2023年次大会in神奈川」：全体で5,300名参加）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、参加者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

JAIFAは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に込められるよう推進してきた。

① 公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加

② 広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」13年継続
公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 22年継続

■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会貢献活動事業は、J A I F Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、J A I F A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、28年間で6億3,060万7,245円、福祉巡回車愛のドリーム号は472台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援に関わる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。「かけがえない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の2点について継続的に実施しており、令和6年度でも実施予定である。

① 未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及と共に未使用のテレフォンカードを手元に保管している人は少なくない。これを収集しボランティア支援に活かしている。このほか切手・はがき等の支援も増えてきた。

② タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。一般企業から協力もいただいている。

更に「愛のドリーム募金」の拡充と活動の周知をはかるため、令和元年度より、毎年、生命保険の日（1月31日）に併せて「愛のドリーム募金」贈呈式を全国地方協会にて一斉に挙げていく活動を取り入れた。この活動は恒久事業として毎年継続していく。

■ハートフルファンデーション支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

1. 未来ある子どもたちへの継続支援

平成24年の設立からの5年間「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた実績から、「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて継続してきた。令和5年度も下記3団体に新たな支援先として「ジャパンハート」を加え合計700万円の支援をさせていただいた。

また、終息が見えず子どもたちへの長期的な影響が懸念されている「困難な状況にあるウクライナの子どもたちのための支援」として、ウクライナ大使館を経由して支援をさせていただいた。さらにトルコ・シリア地震への支援として、被災した子どもたちのためにもトルコ共和国大使館を経由して支援をさせていただいた。※令和4年度末会員数38,664名×100円（3,866,400円）

継続支援実績（平成29年度に継続7年目の支援）

① 「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」（100万円）

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体で、全国に約150名のクラウン(道化師)が活動しており、小児病棟に入院している子どもたちがいる、日本全国96の病院を定期訪問している。病院への定期訪問の他、被災地での活動へ支援させていただいた。

- ② 「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」(200万円)
病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に12施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。
- ③ 「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」(200万円)
命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。
- ④ 「NPO法人 ジャパンハート」(200万円)
国内外を問わず医療の届かないところに医療を届けるという理念で、難病を抱える子どもたちの治療を実現している団体である。特に小児がんの子どもたちを対象とした「スマイルスマイルプロジェクト」に支援させていただいた。

2. 突発的災害への支援

全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただくことができた。

万一の大災害時に、「JAIF Aらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約2,000万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられた。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に応えていくこととしている。

◆「令和6年能登半島地震」への支援

令和6年1月に石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生した。甚大な被害に見舞われ、道路の寸断による交通渋滞が原因となり救命活動等の妨げとなるなど支援が難しい中、スピード感のある支援を行うために、1月26日「石川県令和6年度能登半島地震災害義援金」の窓口に対して、500万円の寄附をさせていただいた。

災害直後から、石川県協会がハートフルファンデーション委員会と連携体制をとり、金沢市内の物資受入センターに飲料水、簡易トイレ、使い捨てカイロ等の搬入や、広域避難者の施設での炊き出しボランティアに参加させていただいた。

富山県協会では、氷見市と高岡市の社会福祉協議会と連携し、それぞれスコップ、一輪車、カイロ等被災地復興のための資材費を支援させていただいた。

◆令和5年6・7月の大雨にかかる災害への支援

線状降水帯により大雨被害地域が西日本から東北地方に及んだ。福岡協会、佐賀県協会、大分県協会、山口県協会、秋田県協会とハートフルファンデーション委員会は社会福祉協議会に連携を図り、被災地で必要としているものを確認し、飲料水、手袋、高圧洗浄機、サーキュレーター等を支援させていただいた。

◆台風13号被害への支援

9月5日から台風13号による線状降水帯により大雨被害がもたらされた。茨城県協会はハートフルファンデーション委員会、地方協会長、北茨城市社会福祉協議会と連携し、北茨城市災害ボランティアセンターへ、飲料、タオル、土のう袋を支援させていただいた。

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

令和5年度は、主な要因として、明治安田生命の全都道府県J A I F A明治安田分会設立に伴い、会員数が前年度比4. 5%UPと大幅に増員し、目標としていた会員数4万名を達成することができた。

| 事業年度 | 会員数 | 増加数 | 増加率 |
|-----------|----------------|---------------|-------------|
| 平成16年 | 27,998名 | | |
| 17年 | 29,019名 | 1,021名 | 3.6% |
| 18年 | 29,248名 | 229名 | 0.8% |
| 19年 | 30,538名 | 1,290名 | 4.2% |
| 20年 | 30,576名 | 38名 | 0.1% |
| 21年 | 31,598名 | 1,022名 | 3.3% |
| 22年 | 31,770名 | 172名 | 0.5% |
| 23年 | 31,812名 | 42名 | 0.1% |
| 24年 | 32,412名 | 600名 | 1.9% |
| 25年 | 33,775名 | 1,363名 | 4.2% |
| 26年 | 34,044名 | 269名 | 0.8% |
| 27年 | 34,890名 | 846名 | 2.4% |
| 28年 | 36,449名 | 1,559名 | 4.3% |
| 29年 | 38,476名 | 2,027名 | 5.3% |
| 30年 | 38,876名 | 400名 | 1.2% |
| 令和元年 | 39,334名 | 458名 | 1.2% |
| 2年 | 38,897名 | ▲437名 | ▲1.2% |
| 3年 | 39,557名 | 660名 | 1.7% |
| 4年 | 38,664名 | ▲893名 | ▲2.3% |
| 5年 | 40,487名 | 1,823名 | 4.5% |

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員としている。生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対してもJ A I F Aの事業活動を広報しつつ入会促進している。生命保険会社に所属する会社に比して代理店は来店窓口型も多く、一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生命保険への理解を深めていただけるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「Present」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。

2024年2月号より特集と連載を生命保険に関する記事を掲載している。相続対策など、一般の方の知識となるような内容とする。

また、広報活動については、J A I F Aの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「QRコード」などを活用していく。

●2023年4月号

- ・ 特集 日本文化の良さを再発見 第1回 クールジャパンの原点、世界へ羽ばたく漫画
- ・ 連載 神奈川の郷土料理 第1回 サンマーメン ～横浜を代表するご当地麺～
- ・ 第96回 ゼロから学ぶ税金講座 暦年課税か精算課税か？

- ・ 第244回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 「どんなことがあっても夢をあきらめない」
- ・ 第73回 社会保険Q&A 基礎年金の額が2通りに
- ・ 第133回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～あなたの中の素敵を探そう～
- ・ 第122回 心のかげはし 行きたくないという気持ちを乗り越えて活動しているからこそ良いこともあります ～16年間の職域活動で体感した毎日通うことの意味～
- ・ 第145回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 2024年「統合NISA」 その4つの改正点
- ・ 第53回 想いをつなぐ 新社会人を対象に、ビジネスマナーと金融知識のオンラインセミナーを開催
- ・ 2023JAIFA年次大会 in 神奈川 参加者募集開始のご案内

●2023年5月号

- ・ 特集 日本文化の良さを再発見 第2回 世界からも注目の“和食”の歴史
- ・ 連載 神奈川の郷土料理 第2回 けんちん汁 ～鎌倉の禅寺から全国へ修行僧が広めた素朴な汁料理～
- ・ 第97回 ゼロから学ぶ税金講座 延長された贈与税の特例
- ・ 第245回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 「反抗期の私と我が家を支える生命保険」
- ・ 第74回 社会保険Q&A 「マクロ経済スライド」ってなに？
- ・ 第134回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～いつだって大切なのは心地よさ～
- ・ 第123回 心のかげはし 自分の人生をかけてお客様を守っていききたい ～お客様に支えてもらったからこそ、今の自分がある～
- ・ 第146回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ せっかく作ったマイナンバーカード お得に活用しよう
- ・ タオル・カード類 収集へご協力をお願い
- ・ 2023JAIFA年次大会 in 神奈川 参加者募集開始のご案内

●2023年6月号

- ・ 特集 日本文化の良さを再発見 第3回 “おもてなし”に宿る日本人独特の感性とは？
- ・ 連載 神奈川の郷土料理 第3回 よこすか海軍カレー ～インド発祥ながら独自に進化し世界に認められた日本のカレー～
- ・ 第98回 ゼロから学ぶ税金講座 NISA、新制度に衣替えへ
- ・ 第246回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 「生死混合型保険でリスクに備える」
- ・ 第75回 社会保険Q&A 「年金制度は大丈夫か？」にどう答えるか
- ・ 第135回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～季節の贈り物を受け取ろう～
- ・ 第209回 お客様からの感謝の声 在宅勤務中の夫との突然の別れ。生命保険のおかげでやっと前に進めるようになりました
- ・ 第147回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 10万円もらえる自治体も！子育て支援制度を活用しよう
- ・ 第54回 想いをつなぐ うみがめの産卵地を守るため海岸を清掃 今後は災害時に役に立てる仲間を増やしたい
- ・ 第54回 JAIFA VOICE 「元気に楽しくJAIFA活動」 JAIFAでしかできない社会貢献活動の輪を広げよう！

●2023年7月号

- ・ 特集 日本文化の良さを再発見 第4回 お寺やお城などを巡って日本の伝統的な建築物を知る
- ・ 連載 秋田の郷土料理 第1回 じゅんさい鍋
- ・ 第99回 ゼロから学ぶ税金講座 株式投資、通常の課税なら…
- ・ 第247回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 「祖父の愛」
- ・ 第76回 社会保険Q&A 「年金制度は大丈夫か？」問題の考え方
- ・ 第136回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～自分の心が喜ぶことを選ぼう～
- ・ 第124回 心のかげはし クレームにこそお客様の本音が隠れている～ 「細く長く頑張っとな」と励ましてくれたお客様との約束を守るために～
- ・ 第148回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 個人向けの国債の金利が上昇しているって本当？
- ・ 第55回 想いをつなぐ 街頭に立って通行人にチラシを配り献血への協力を呼びかける
- ・ 第55回 JAIFA VOICE 会員はじめ非会員や一般の方も対象にセミナーを開催 多彩なテーマで、心と頭の栄養を参加者にお届けしています

●2023年8月号

- ・ レポート JAIFA年次大会20回記念 2023JAIFA年次大会in神奈川 Step up to the next stage ～次のステージへ～
- ・ 令和5年度 第53回 定時総会
- ・ 第149回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 「株式分割」を行う企業が増えているのは本当？
- ・ 第248回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 五年後の私へ。
- ・ 第77回 社会保険Q&A 「20歳になったら国民年金」—— どうする保険料？
- ・ 第137回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～当たり前を見直してみよう～
- ・ 第210回 お客様からの感謝の声 余命を宣告されたシングルファーザー。子どもたちの存在が生きる活力になっています
- ・ 第100回 ゼロから学ぶ税金講座 20.315%が標準—— 金融商品の税金——
- ・ 第56回 想いをつなぐ 児童養護施設へ10年間通い、鉢植え作業を通して子どもたちと交流を深めています
- ・ 第56回 JAIFA VOICE 「タオル2000本運動」を一丸となって展開 老人介護施設へ毎年寄贈を続けています
- ・ JAIFA社会貢献活動報告

●2022年9月号

- ・ 特集 日本文化の良さを再発見 第5回 ゴッホやジョブズが愛した「日本絵画」の魅力に迫る！
- ・ 連載 秋田の郷土料理 第2回 だまこ鍋
- ・ 第101回 ゼロから学ぶ税金講座 税収の割合はわずか4%でも相続税は重要
- ・ 第249回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 幸せを当たり前
- ・ 第78回 社会保険Q&A 厚生年金の保険料はどう決まる？
- ・ 第138回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～自分のことを知ってもらいましょう～
- ・ 第211回 お客様からの感謝の声 頑張りすぎて心を病んだ長女。特約の休業サポートで回復への光が見えてきました

- ・ 第150回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ インフレでお金の価値が目減りする？
- ・ 第57回 想いをつなぐ コロナ前はリレー・フォー・ライフにてボランティア、現在は講演会開催時に愛のドリーム募金活動を実施
- ・ 第57回 JAIFA VOICE 新聞広告やチラシなどで献血への協力を呼びかけ意見交換会を通して親睦を図っています

●2023年10月号

- ・ 特集 身近な運動で健康UP！ 第1回 自転車で健康アップやダイエットを！
- ・ 第77回 生命保険の月に寄せて
- ・ 第102回 ゼロから学ぶ税金講座 不動産に対する相続税の計算方法
- ・ 第250回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 「ヤングケアラー」と将来設計
- ・ 第79回 社会保険Q&A 遺族年金の男女格差
- ・ 第139回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～心のクールダウンをしよう～
- ・ 第125回 心のかけはし しゃべらせ上手の極意 ～お客様にあったよりよい情報を提供するためには聞く力が大事～
- ・ 第151回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ もらい忘れていた年金ありませんか？
- ・ 第58回 想いをつなぐ がんのチャリティイベントに会員が毎年参加、障害のある方が作られたお菓子の販売協力も計画中
- ・ 第58回 JAIFA VOICE 県内各地で講演会を開催することで地域の方々にJAIFAの活動を広く知っていただきます
- ・ 第1回 学び(相互研鑽)のひろば 熊本県協会創立50周年を記念し、元サッカー日本代表による対談を開催

●2023年11月号

- ・ 2023年 JAIFA 21人の理事・監事からのメッセージ
- ・ 特集 身近な運動で健康UP！ 第2回 ジョギングで心身の健康を高めよう
- ・ 連載 秋田の郷土料理 第3回 きりたんぼ
- ・ 第103回 ゼロから学ぶ税金講座 忘れがちな保険料控除 ―― 年末調整
- ・ 第251回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 「家族と保険と私」
- ・ 第80回 社会保険Q&A 「第3号被保険者」問題とは
- ・ 第140回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～言葉の力を味方につけよう～
- ・ 第126回 心のかけはし 自分が定年後いなくなっても盤石な営業体制を ～育成のスペシャリストが苦労の末たどりついた1人で営業できる人の育て方～
- ・ 第152回 思わず伝えたくなる！ お金にまつわるエトセトラ 意外とたくさんある！ 「シニア割」を要チェック
- ・ 第59回 想いをつなぐ コロナ禍で中止になったイベントの参加料を子どもたちのための活動に寄付しました
- ・ 第59回 JAIFA VOICE 2025年度の年次大会を成功させるべく一丸となって取り組んでいます

●2023年12月号

- ・ 2023年 JAIFA 全国でリーダーとして活躍する54地方協会長からのメッセージ
- ・ 特集 身近な運動で健康UP! 第3回 ウォーキングで身も心も軽やかに!
- ・ 連載 秋田の郷土料理 第4回 いぶりがっこ
- ・ 第104回 ゼロから学ぶ税金講座 税制改正の決まり方
- ・ 第252回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ ラストラブレター
- ・ 第81回 社会保険Q&A 出産時の国民健康保険料の免除
- ・ 第141回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～自分で自分を上手に助けよう～
- ・ 第153回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 年金の繰下げ受給「50人に1人」しか利用していない?
- ・ 第60回 想いをつなぐ 毎年の恒例イベントとなっているボランティア活動を実施しました
- ・ 第60回 JAIFA VOICE 活動報告会・講演会を良いイベントとして終えることができました
- ・ 第2回 学び(相互研鑽)のひろば 「知識の啓蒙」を目的とした夏季セミナーを開催

●2024年1月号

- ・ 新春対談 Partnership～チームのために手を取り合おう
榊原 郁恵さん<タレント・俳優> 金井 敬司<JAIFA第13代理事長>
- ・ 連載 秋田の郷土料理 第5回 かすべ煮
- ・ 第253回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ いつか「その時」がきても
- ・ 第61回 中学生作文コンクール 入賞者表彰式
- ・ 生命保険会社社長より 新年のご挨拶
- ・ 第105回 ゼロから学ぶ税金講座 そもそも確定申告とは? (前編)
- ・ 第82回 社会保険Q&A 65歳になる直前に退職すれば……
- ・ 第142回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～朝の自分ミーティングを楽しもう～
- ・ 第212回 お客様からの感謝の声 23歳で膀胱がん。自身の経験した生命保険の大切さを広く伝えるため25歳で転職しました
- ・ 第154回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ お金の貯まる夫婦には何がある?
- ・ 全国会長会議報告
- ・ 第61回 想いをつなぐ 毎年恒例となっているイベントを開催しました
- ・ 第61回 JAIFA VOICE 年間を通じていろいろなセミナーを開催しています

●2024年2月号

- ・ 特集 相続対策に強い生命保険 第1回 生命保険が相続対策に強い理由
- ・ 連載 FP知識を活用した保険販売のアプローチ 第1回 保険より貯金の方がよいと考える人へ
- ・ 第106回 ゼロから学ぶ税金講座 そもそも確定申告とは? (後編)
- ・ 第254回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 生命保険は「もしも」に向き合う力
- ・ 第83回 社会保険Q&A 65歳以降も年金カットは続くのか
- ・ 第143回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～本当に大切にしたいことを見つけよう～
- ・ 第213回 お客様からの感謝の声 22歳年上の夫が悪性リンパ腫で逝去。5人の家族を天国から守ってくれています

- ・ 第155回 思わず伝えたい！ お金にまつわるエトセトラ 新NISAの投資候補？高配当株・増配株
- ・ 第62回 JAIFA VOICE 毎年、春と秋に研修会を開催しています
- ・ 2024 JAIFA年次大会 in秋田 参加者募集のご案内

●2024年3月号

- ・ 特集 相続対策に強い生命保険 第2回 相続発生後は何かと物入り。現金準備に生命保険を！
- ・ 連載 お客様との信頼関係を築くための税務知識 第1回 保険料贈与プランを提案する場合の注意点
- ・ 第107回 ゼロから学ぶ税金講座 「接待飲食費1万円まで非課税」の意味
- ・ 第255回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 人生シミュレーション
- ・ 第84回 社会保険Q&A 年金カットを避けるには
- ・ 第144回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【自分らしく過ごすための小さなヒント】
～居心地の良さをチューニングしよう～
- ・ 第214回 お客様からの感謝の声 生命保険に加入した数ヵ月後に前立腺がんと診断。治療しながら仕事にゴルフに充実した日々
- ・ 第156回 思わず伝えたい！ お金にまつわるエトセトラ 思わぬ「情報漏えい」にご用心！
- ・ タオル・カード類 収集へご協力をお願い
- ・ 2024 JAIFA年次大会 in秋田 参加者募集のご案内

1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして120回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①笠井 信輔（フリーアナウンサー）
『闘病体験記～悪性リンパ腫ステージ4からの寛解～』
- ②酒井 隼（理学療法士、(株) Terrace J代表、身体重心評論家）
『薬がいなくなる身体の作り方 痛み編』
- ③大谷 貴子（全国骨髄バンク推進連絡協議会 元会長 現顧問）
『がんになって得たもの』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①松本 和也（(株) マツモトメソッド 代表取締役）
『「聞き手優先主義」～聞いている人がもっとも嬉しい伝え方～』
- ②大野 寿子（公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン）
『夢に向かって一緒に走ろう』
- ③木山 裕策（シンガー）
『がんが教えてくれたこと～自分に向き合ってみつけた夢～』
- ④ゴルゴ松本（お笑い芸人）
『出張！ゴルゴ塾 命の授業』
- ⑤モーリー・ロバートソン（国際ジャーナリスト）
『モーリー流 自分を信じる生き方』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①永松 茂久（(株) 人材育成 JAPAN 代表取締役）
『人は話し方が9割』
- ②小野 美代子（栃木県倫理法人会女性委員長）
『鏡見て 姿整え 心まで』
- ③東 ちづる（一般社団法人Get in touch 代表）
『誰も排除しない「まぜこぜの社会」をめざして～浅く広くゆるくつながる～』
- ④杉村 太蔵（元 衆議院議員）
『太蔵流 チャンスをつかむ技術』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①坂東 眞理子（学校法人昭和女子大学 総長）
『人生100年時代の賢いお金とのつきあい方』
- ②前園 真聖（元サッカー日本代表）

『サッカーから学んだ人生』

- ③大和 恵子（ライフオーガナイザー）、三室 正子（みむろ税理士事務所 代表）
『共に考える実家の片付けと相続』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①上地 明德（一般社団法人経済教育支援機構 代表理事）
『今後の世界経済情勢と投資の必要性』
- ②狩野 新平（株式会社シャフト）
『これからの資産形成手段とは 新NISA、iDeCoを学び直し、保険の良さを再確認する』
- ③尾河 眞樹（ユニフィナンシャルグループ 株式会社 執行役員兼金融市場調査部長チーフアナリスト）
『為替相場の変動要因と今後の見通し～岐路に立つ世界経済・金融政策と為替相場への影響～』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

令和5年10月 6日（金） 函館国際ホテル
相川 良夫 『「Kond Style」で新しい働き方を』

<東北ブロック>

令和5年11月10日（金） ANAクラウンプラザホテル秋田
厚切りジェイソン 『ジェイソン流お金の増やし方 WHY JAPANESE PEOPLE!なんでやりたいことをやらないの?』

<関東甲信越ブロック>

令和5年10月 6日（金） 山梨市民会館1階 ホール
高橋 由伸 『高橋由伸トークショー』

<首都圏ブロック>

令和6年 1月 6日（土） 埼玉県立武道館
『パラスポーツ運動会』

<東海北陸ブロック>

令和5年 9月29日（金） 四日市文化会館
笠井 信輔 『闘病生活からの復帰 そして現在』
的場 凜 『和太鼓、篠笛』
佐藤 ひらり 『公演』

<四国ブロック>

令和5年 4月14日（金） 高知県民文化ホール グリーンホール
安岡 ゆり子 『地域格差のないがん治療を』
岡本 友彦 『家族のための相続対策』

令和5年 9月29日（金） 藍住町 総合文化ホール 大ホール
眞鍋 政義 『チームマネジメントについて』
レギュラー 『レギュラーの知っておきたい介護の話!』

令和6年 3月 7日（木） CHRES セリーズ
中村 文昭 『お金でなく、人のご縁ででっかく生きろ』 『出会いを生かせば道は開ける』
足立 将一 『目の付け所を変えれば子どもが伸びる』 『親は子どもの宝物』

2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「Present」では、裏表紙に、生命保険の日（1月31日）に併せて全国一斉に「愛のドリーム募金」贈呈式を挙行了した活動を掲載した。令和6年3月31日現在までの総累計金額は、6億3,060万7,245円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

ガンに立ち向かう人々のための公益財団法人日本対がん協会のリレー・フォー・ライフや、知的発達障害のある人々のための公益社団法人スペシャルオリンピックス日本などへ、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した台風や地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

- ・令和5年 4月20日(木)21日(金) 第53回MDRT日本会大会に金井理事長が出席した。
- ・令和5年 6月22日(木) 第52回TLC（生命保険協会認定FP）会総会に金井理事長が出席した。
- ・令和5年 7月 4日(火) アンダーライティング学院運営委員会に金井理事長が出席した。
- ・令和5年 8月28日(月) アンダーライティング学院第48期生卒業式に日影理事が出席した。
- ・令和5年 9月 7日(木) アンダーライティング学院第49期生入学式に事務局が出席した。
- ・令和5年10月18日(水) 生命保険修士会第49回定時総会講演会に事務局が出席した。
- ・令和5年11月16日(木) アンダーライティング学院会計監査に右見理事が出席した。
- ・令和5年11月17日(金) 一般社団法人日本損害保険代理業協会第12回日本代協コンベンション懇親会に事務局が参加した。
- ・令和6年 1月 4日(木) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に金井理事長と事務局が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客様や一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事であり、その活動には国境がない。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要である。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

令和6年度税制改正に関する要望項目について

令和5年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、10月26日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

◎人生100年時代を迎え、少子高齢化の急速な進展や働き方・ライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度を拡充すること

一所得税法上および地方税法上の介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、一般生命保険料控除については扶養している子どもがいる場合、6万円および4.2万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも14万円（扶養している子どもがいる場合、16万円）とすること

（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

○公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、企業型確定拠出年金制度、厚生年金基金制度）および個人型確定拠出年金制度の積立金に係る特別法人税を撤廃すること、撤廃に至らない場合であっても課税停止措置を延長すること

○確定給付企業年金制度において、現行のとおり拠出限度額を設定しないこと

○確定給付企業年金制度における中途引出し（脱退一時金）の在り方の検討にあたって、現行のとおり中途引出しを認めること

○確定給付企業年金制度について、企業の年金支給義務等を移転させる仕組みを導入するための措置を講ずること

○企業型確定拠出年金制度における退職時の中途引出し（脱退一時金）について支給要件を緩和すること

II. 生命保険契約関係

○遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

令和6年1月22日（月）KKRホテル東京において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会を開催された。

4. 管理部門

組織の現状

令和5年度末の会員数は40,487名となった。前年令和4年度末会員数38,664名と比較すると1,823名の増加となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は37協会であった。地方協会別会員数は、別表（48～49ページ添付）資料の通りである。

会員増加37協会

札幌・函館・苫小牧・旭川・釧路・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・長野県・埼玉県・千葉県・富山県・愛知県・三重県・大阪・兵庫県・和歌山県・岡山県・福山・山口県・香川県・愛媛県・高知県・福岡・北九州・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県

諸会議の開催

① 理事会

- 第1回 令和5年 4月25日(火) 午後2時～午後4時半 メットライフ生命 6階 会議室
議 題 I. 決議事項 第1号議案 令和4年度事業報告承認の件 第2号議案 令和4年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項: 第1号議案 令和4年度決算承認の件 第2号議案 理事選任の件 第2号議案 監事選任の件 報告事項: 1. 令和4年度事業報告の件 2. 令和5年度事業計画報告の件 3. 令和5年度予算報告の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長 2. 内部監査報告について 3. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 4. 年次統一セミナーの開催について 5. その他
- 第2回 令和5年 7月 7日(金) 午後2時～午後4時 メットライフ生命 6階 会議室
議 題 I. 決議事項 1. 令和5年度事業推進について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. 理事会の開催予定について II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 年次統一セミナー報告 4. その他
- 第3回 令和5年 9月 1日(金) 午後2時～午後4時 メットライフ生命 6階 会議室
議 題 I. 決議事項 1. 令和5年度事業推進について 2. 令和6年度事業計画骨子について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 全国会長会議の開催予定について 4. その他
- 第4回 令和5年10月26日(木) 午後1時～午後2時半 メットライフ生命 6階 会議室
議 題 I. 決議事項 1. 令和5年度事業推進について 2. 令和6年度事業計画骨子について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. その他 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について(理事長・副理事長) 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他
- 第5回 令和6年 1月22日(月) 午後2時半～午後4時半 KKRホテル東京11階『丹頂の間』
議 題 I. 決議事項 1. 令和5年度事業推進について 2. 令和6年度事業計画案について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 令和6年度予算原案について 4. 地方協会の承認の件 5. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

② 委員会

IT公益推進委員会 合同会議 教育部会 広報部会 推進部会

- 第1回 令和5年 4月6日(木) 午後4時～午後5時半 JAIFA本部会議室【Web会議】
議 事 1. 視聴する会員の営業モチベーションをアップさせるインタビュー動画の作成
2. 年次大会動画作成、COCOARへの連携、スキャンマークの変更 3. セールス手帖社より作成された新学習帖コンテンツ案について 4. 相続診断協会からのバナー広告掲載依頼について

IT公益推進委員会 教育部会

- 第1回【教育部会・編集会議】令和5年 8月22日(火) 午後2時～午後3時35分 JAIFA本部会議室
議 事 1. 令和5年度事業進捗について 2. 令和6年度事業計画案(骨子)について
3. 令和5年度広報誌「Present」の制作について 4. その他
編集会議 午後3時40分～午後5時

議 事 1. 令和5年度広報誌「Present」下半期の編集内容について 2. 令和6年度広報誌「Present」年間編集方針について 3. その他
第2回【教育部会・編集会議】令和5年12月 5日(火) 午後12時半～午後1時35分 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和5年度事業進捗について 2. 令和6年度事業計画案について 3. 令和6年度広報誌「Present」の制作について 4. その他
編集会議 午後13時45分～午後14時55分

議 題 1. 令和6年度広報誌「Present」下半期の編集内容について 2. その他
【編集打合せ】令和5年11月 9日(木) 午前10時半～午前11時半 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和6年2月号からの特集・連載記事について 2. その他

IT公益推進委員会 広報部会

第1回 令和5年 8月 9日(水) 午後1時～午後3時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 令和5年度事業推進状況について 2. 令和6年度事業計画案(骨子)について
3. その他

第2回 令和5年12月 5日(火) 午後3時～午後5時 JAIFA本部会議室

議 事 1. 令和5年度事業推進状況について 2. 令和6年度事業計画(案)について
3. その他

IT公益推進委員会 推進部会

第1回 令和5年 7月13日(木) 午後1時半～午後2時半 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和5年度事業進捗についての共有 2. 資産運用コンテンツ 3. その他

第2回 令和6年 1月11日(木) 午前10時～午前11時 JAIFA本部会議室【Web会議】

議 事 1. 各委員会によるLINEメッセージ配信の活用 2. その他

HP勉強会 令和5年 8月3日(木) 午後1時半～午後4時 JAIFA本部会議室【Web会議】

企画運営委員会

第1回 令和5年12月26日(火) 午後2時～午後5時半 JAIFA本部会議室

議 事 1. 2024JAIFA年次大会について 2. 令和6年度事業計画(案)について
3. その他

【2023JAIFA年次大会in神奈川実行委員会】

第4回 令和5年 8月 8日(火) 午後3時25分～午後4時15分 かながわ県民センター

議 事 1. 2023JAIFA年次大会in神奈川 開催を受けて 2. その他

【2024JAIFA年次大会in秋田実行委員会】

第1回 令和5年 8月 1日(火) 午後1時半～午後5時 CNAアリーナ★あきた 会議室E

議 事 1. 2019JAIFA年次大会報告(ダイジェストDVD視聴)

2. 2024JAIFA年次大会について 3. その他

第2回 令和5年10月17日(火) 午後1時45分～午後4時45分 明治安田生命 秋田支社
2階 会議室

議 事 1. 2024JAIFA年次大会について 2. その他

第3回 令和6年 2月 2日(金) 午後1時半～午後5時半 ANAクラウンプラザホテル 4F
シリウスV

議 事 1. 2024JAIFA年次大会について 2. その他

社会貢献委員会

第1回 令和5年 9月28日(木) 午後2時半～午後4時半 JAIFA本部会議室

議 事 1. 令和5年度事業進捗と今期方針の検討について 2. 令和6年度事業計画案
(骨子)について 3. その他

会員増強委員会

- 第1回 令和5年 8月 9日(水) 午後3時半～午後5時半 J A I F A本部会議室
議 事 1. 令和5年度事業推進と進捗状況について ・会費納入状況について ・会員増強について 会員数4万名へ向けて 2. 令和6年度事業計画(骨子)について 3. その他
- 第2回 令和5年 9月22日(金) 午後3時～午後4時 J A I F A本部会議室【We b会議】
議 事 1. 令和5年度事業推進と進捗状況について ・大樹生命本社訪問の報告 ・各委員より、各社あるいは各地方協会からの現況報告 2. I T推進部会等、関連委員会との連携報告 3. その他

公益総務委員会

- 第1回 令和5年 5月19日(金) 午前10時～正午 J A I F A本部会議室
議 事 1. 全地方協会の日当、出張旅費、動費等のガイドライン策定について 2. その他
- 第2回 令和5年 6月 8日(木) 午後2時～午後4時 J A I F A本部会議室
議 事 1. 第1回委員会から引き続き 全地方協会の日当、出張旅費、役員行動費等のガイドライン策定について 2. その他
- 第3回 令和5年 7月13日(木) 午後2時半～午後3時半 J A I F A本部会議室【We b会議】
議 事 1. 令和5年度事業進捗についての共有 全地方協会の日当、出張旅費、役員行動費等のガイドライン策定について ブロック長会議の段取り 2. その他
- 第4回 令和5年 8月24日(木) 午後3時55分～午後5時5分 J A I F A本部会議室【We b会議】
議 事 1. 令和5年度事業進捗について 全地方協会の日当、出張旅費、役員行動費等のガイドライン策定について 2. その他
- 第5回 令和5年11月30日(木) 午前10時45分～午前11時35分 J A I F A本部会議室【We b会議併用】
議 事 1. 令和5年度事業進捗について 新聞広告掲載料・年次大会への補助の件を、今後どのように進めていくのか 2. 令和6年度事業計画(案)について 3. その他
- 第6回 令和6年 1月11日(木) 午前11時～午前11時55分 J A I F A本部会議室【We b会議】
議 事 1. 令和5年度事業進捗について 方針と自由裁量権ルールについて 2. その他

③ 全国会長会議

- 第1回 令和5年10月26日(木) 午後3時～午後6時 メットライフ生命 6階大会議室 全国会長会議、J A I F Aフォーラム 午後6時半～午後8時半 ナイトミーティング
議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と平成31年度事業計画骨子 教育委員会、企画広報委員会 企画部会・広報部会、社会奉仕委員会、組織強化委員会 組織部会・財務部会・金融業界調査部会・総務部会 ②ハートフルファンデーションについて ③J A I F Aの組織の現況等について
- 令和5年10月27日(金) 午前9時～正午 全国会長会議、ブロック会議 メットライフ生命 6階大会議室
議 事1. J A I F Aフォーラム報告 8グループからの代表 2. ブロック会議、北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 3. ブロック会議報告

④ ブロック会議

<北海道ブロック>

- 令和5年10月 6日(金) 函館国際ホテル
令和5年10月27日(金) メットライフ生命6階会議室

<東北ブロック>

- 令和5年 5月19日(金) グランドパークホテル パネックスいわき
令和5年10月27日(金) メットライフ生命6階会議室

<関東甲信越ブロック>

令和5年 8月 4日 (金) 山梨県立男女共同参画推進センター ぴゅあ総合

令和5年10月27日 (金) メットライフ生命6階会議室

令和5年12月 1日 (金) 山梨県立青少年センター

<首都圏ブロック>

令和5年 8月18日 (金) 東京協会会議室

令和5年10月27日 (金) メットライフ生命6階会議室

<東海北陸ブロック>

令和5年 9月30日 (土) じばさん三重5階研修室

令和5年10月27日 (金) メットライフ生命6階会議室

<近畿ブロック>

令和5年10月27日 (金) メットライフ生命6階会議室

<中国ブロック>

令和5年10月27日 (金) メットライフ生命6階会議室

<四国ブロック>

令和5年 4月14日 (金) 高知県民文化ホール

令和5年 9月29日 (金) 藍住町総合文化ホール

令和5年10月27日 (金) メットライフ生命6階会議室

令和5年12月21日 (木) ふれあい福祉センター勝賀

令和6年 3月14日 (木) ふれあい福祉センター勝賀

<九州ブロック>

令和5年10月27日 (金) メットライフ生命6階会議室

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

令和5年度は、「本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動」「従来からの内部監査の延長活動」の各項目での内部監査を実施した。

内部監査 【本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動】

- 1 各種規程類の見直し
- 2 本部事務局の管理体制、事務についての見直し

【従来からの内部監査の延長活動】

- 1 各ブロック活動・地方協会の活動の確認

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる令和5年度末の専従職員数は8名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。